



ふちゅうの教育

教育施策・スポーツ施策に関するプラン・計画(令和4年度(2022年度)~令和11年度(2029年度))を策定しました

※プラン・計画の全文はホームページで公開しています。

第3次府中市学校教育プラン

教育施策の方向性を示すものとして、第3次府中市学校教育プランを策定しました。これからの時代を生きる子供たちを育成するために、次の「基本理念」と「目指す人間像」を、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関が共有し、一致協力して取り組んでいきます。



基本理念

全ての子供が、人格の完成に向け、ふるさと府中に誇りを持ち、知性や感性を磨き、豊かな人間性を備え、心身ともに健康に成長していくために、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関が相互に連携、協力、役割分担、支援しながら子供たちの育成を担っていきます。

目指す人間像

＜社会的な資質・能力＞
社会の一員としての自覚を持ち、社会に貢献しようとする人

＜人権感覚と規範意識＞
他者も自分も大切にする、思いやりと規範意識のある人

＜確かな学力＞
自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人



【問合せ】教育総務課 ☎ 042-335-4424

第2次府中市スポーツ推進計画

スポーツ施策の方向性を示すものとして、第2次府中市スポーツ推進計画を策定しました。スポーツタウン府中の更なる発展を目指し、スポーツに関する各種施策を総合かつ計画的に推進していきます。

第2次府中市スポーツ推進計画



基本理念

スポーツタウン府中の発展

スポーツタウン府中とは



【問合せ】スポーツタウン推進課 ☎ 042-335-4499

府中第十中学校 ～地域貢献プロジェクト委員会～

府中第十中学校の特別委員会「地域貢献プロジェクト委員会」は、地域貢献を目的に活動しており、今年度は27人の生徒が所属しています。委員会では、公園の花の植え付けのほか、地域にお住まいの松本良幸さんの畑と一緒に作業をさせていただき、農業指導を受けながら野菜の栽培・販売もしています。

毎年4・5月に野菜の種まきや苗の植え付けをし、風よけや寒さ対策のネット張りを行います。生徒たちが栽培した野菜は、6・7月に収穫し、学校の昇降口で開催する「十中朝市」や、畑近くの直売所、西府文化センターの地域まつりなどで地域の皆さんに販売しています。販売小屋の製作は学区の工務店に、料金箱は鉄工所に協力していただきました。

「十中朝市」は毎回好評で、野菜を販売して得た収益金で西府文化センターや鳳仙寮に寄贈しており、昨年度は、西府文化センターにアルコール消毒のスタンド、鳳仙寮にゲートボールセットを寄贈しました。

コロナ禍ならではの寄贈に西府文化センターの田邊所長は、「毎年、センター内で利用できる備品を寄贈してもらっており、令和2年度は自動手指消毒機3台と本棚、令和3年度は消毒液スタンド2台をいただきました。自動手指消毒機は、乳幼児の保護者から子供を抱いていても手をかざすだけで消毒できるので便利との声が寄せられ、消毒液スタンドは、足踏み式で直

接手で触れないため、利用者から大変喜ばれています。また、地域まつりでは、生徒の皆さんが収穫し販売される野菜は大人気です。」と話してくれました。

委員会の取組について、3年生で委員長の佐々木綾さんは、「活動を通じて人の上に立つことの大変さや達成感を実感しています。また、地域の方とのつながりをもって貢献することができ、良い経験になっています。」と、同じく3年生で副委員長の森陽希さんは、「昨年度の取組を生かして今年度の取組を更に充実させたいです。また、野菜の扱い方や地域の方々への感謝を忘れずに活動していきたいと思います。」と話してくれました。



イベントのお知らせ

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止・変更する場合がありますので、施設ホームページ等で最新の情報をご確認ください。また、施設利用の際は、マスク着用や手指消毒等のご協力をお願いします。



府中市美術館企画展

孤高の高野光正コレクションが語る ただいま やさしき明治 発見された日本の風景

明治の画家たちは、日本の自然のすばらしさや心のやさしさを誇るかのように堂々と海外に示しました。来日した旅人が持ち帰った「絵画」は、日本のみずみずしさそのものでした。海外に散在した「日本」をひとりのコレクターが1点ずつ半生をかけ蒐集したコレクションを、京都につぎ東京で初公開。好評「おかえり 美しき明治」展に続き、明治のやさしさをぜひあなたに。



▲ 笠木治郎吉〈新聞配達人〉

【会 期】5月21日(土)～7月10日(日)
前期:終了しました
後期:6月15日(水)～7月10日(日)
※作品の展示替えを行います。
【時 間】午前10時～午後5時(入場は午後4時半まで)
【休館日】月曜日
【観覧料】一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円) / 2度目は半額!



夏休みチャレンジ アートのたねを見つけよう!

アートの始まりは、どこにあるでしょう? 実は、私たちの生活の中にあります。アートを生み出すには、そのたねを自分で見つけて、大切に育てることが必要です。芽が出て草木が育ち、花が咲くまでのプロセスを通して、作品のなりたちを考えます。大人も子供も一緒に、美術館コレクションを楽しみ、アートのたねを発見しましょう!



▲ 長谷川繁
2004年
府中市美術館蔵

【会 期】7月23日(土)～9月11日(日)
【時 間】午前10時～午後5時(入場は午後4時半まで)
【休館日】月曜日
【観覧料】一般400円(320円)、高校生・大学生200円(160円)、小・中学生70円(50円)



★観覧料の共通事項: () 内は20名以上の団体料金 / 未就学児、障害者手帳等をお持ちの方は無料 / 市内の小・中学生は「府中っ子学びのパスポート」で無料
【問合せ】府中市美術館 (☎ 042-336-3371)

芸術文化、生涯学習のイベント



第37回府中市青少年音楽祭

市内で活動する青少年の音楽団体が日頃の練習の成果を発表します。8月20日は和太鼓やオーケストラなど合奏の部、8月21日は児童合唱や混声合唱など合唱の部です。さまざまなジャンルの演奏をお楽しみいただけますので、ぜひご来場ください。

【日 程】8月20日(土) 午前の部 和太鼓・箏など
午後の部 オーケストラ・吹奏楽
8月21日(日) 午後の部 合唱
【会 場】府中の森芸術劇場 ドリーむホール



【問合せ】文化生涯学習課文化振興係 (☎ 042-335-4464)

第58回府中市民芸術文化祭

文芸、美術などの展示と音楽、舞踊、劇、演芸などの催物。観覧だけでなく、実際に参加・体験(事前申込みあり)ができますので、ぜひご参加ください。
※イベントの詳細は、広報ふちゅう8月21日号または市ホームページをご覧ください。

【日 程】9月4日(日) はオープニングフェスティバル
9月～11月下旬は各催物
【会 場】府中の森芸術劇場ほか市内各会場
【問合せ】文化生涯学習課文化振興係 (☎ 042-335-4130)

第29回府中市生涯学習フェスティバル

市民の日ごろの学習成果の発表の場として生涯学習フェスティバルを開催します。市民作品展、市民発表会、ワークショップなど、地域間、世代間の交流を促進するとともに、「学び返し」を推進するイベントを行いますので、ぜひ、ご来場ください。

【日 程】9月10日(土)・11日(日)
【会 場】生涯学習センター
【問合せ】文化生涯学習課生涯学習係 (☎042-335-4394)



「ストーリーテリング・グループ おはなしのたね」が 令和4年度子供の読書活動優秀実践団体に表彰

長年にわたり、市内で子供たちに絵本やおはなしの楽しさを伝える活動がされてきた功績で、「ストーリーテリング・グループ おはなしのたね」が、文部科学大臣から表彰されました。



【問合せ】中央図書館 (☎ 042-362-8647)

中央図書館の夏休み子供向けイベント



▲図書館キャラクター「ぶっくん」

※予定は変更になる場合があります。
詳しくは図書館ホームページ等でご確認ください。
【問合せ】中央図書館 ☎ 042-362-8647



夏休み読書キャンペーン 「本の木だいすき」

【日程】7月16日(土)～8月31日(水)
【場所】中央図書館3階 児童室
【対象】中学生以下



【内容】スイカのかたちのカードに、好きな本のことを自由に書いてください。参加者にはめりえのプレゼントがあります。夏休みのおすすめ本の展示・リストも配布します。



図書館探検隊

【日程】7月27日(水)・8月24日(水) 【申込み】事前申込制、各回3家族(先着)
【時間】午前10時～/午後2時～ (7月は7月1日(金)から、8月は8月1日(月)から申込開始)
【場所】中央図書館内
【対象】小学生



【内容】館内を巡ります

夏のおたのしみ おはなし会

【日程】8月4日(木)
【時間】午後3時30分～4時15分
【場所】中央図書館3階 おはなしのへや
【対象】3歳～小学生

【内容】絵本の読み聞かせや語り、紙芝居などを行います。参加者には手作りのプログラムを配布します。

【申込み】事前申込制、先着15名(7月21日(木)から申込開始)

夏休み怪談朗読会

【日程】8月13日(土)
【時間】午後2時30分～4時
【場所】ルミエール府中2階 講習会議室
【対象】小学3年生以上及び一般

【内容】子供も大人も楽しめる古典から現代の怪談話の朗読

【申込み】事前申込制、先着20名(7月21日(木)から申込開始)



図書館員体験ツアー

【日程】7月31日(日)・8月28日(日) 【内容】図書館お仕事体験
【時間】午前10時～/午後2時～ 【申込み】事前申込制、各回3家族(先着)
【場所】中央図書館3階 (7月は7月11日(月)から、8月は8月11日(祝)から申込開始)
ボランティア活動室
【対象】小学生



小学生のためのブックトーク 「よむよむ探検隊」

【日程】8月6日(土) 【内容】「応援」をテーマとして
【時間】午後3時～3時45分 色々な本を紹介します。
【場所】中央図書館3階 おはなしのへや
【対象】小学4～6年生 【申込み】不要

中央図書館・地区図書館休館のお知らせ

改修工事等のため、休館します。
中央図書館：10月1日(土)～令和5年2月28日(火)
地区図書館：令和5年2月1日(水)～28日(火)

中央文化センターで、中央図書館臨時窓口を開設します。
開設期間：10月5日(水)～令和5年1月31日(火)
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。



【問合せ】中央図書館 ☎ 042-362-8647

シリーズ 新「府中市史」 編さん ⑬

市史刊行物の紹介 『新 府中市史研究 武蔵府中を考える』

『新 府中市史』では、市史編さんの調査のなかで新たにわかったことや、研究成果の中間報告、新たに発見された資料の紹介などを目的として、『新 府中市史研究 武蔵府中を考える』という刊行物を年度単位で発行しています。市史研究には、おもに本市の市史編さんに携わる専門家の方に原稿を執筆していただいております。「本市の歴史」という共通項以外は、そのテーマも扱う時代もさまざまです。

最新の第4号には、市内の縄文時代・弥生時代の遺跡、奈良時代に武蔵国入間郡で発生した神火事件の背景、戦国大名小田原北条氏が発給した新発見の古文書、江戸時代の馬の秣場(家畜の飼料や肥料となる草を採取する土地)をめぐる村々の争いを記した古文書、市民のお宅でみつかった

太平洋戦争中の日本軍偵察機の尾翼部品、武蔵府中郷土かるたと原画を描いた赤羽末吉画伯、といった原始古代から現代に至るまでの各時代に関する論稿や資料を紹介する文などを掲載しました。

市史研究で紹介した資料や論稿で明らかになったことは、さらに整理や調査研究を深め、最終的に通史編に活用します。市史研究の冊子は現在までに1号から4号を発行し、市立小・中学校や図書館に配布してきました。各号ともに500円で、ふるさと府中歴史館、市民相談室、市政情報センター、郷土の森博物館、観光情報センターでの頒布もしていますので、ぜひご覧ください。

【問合せ】ふるさと文化財課市史編さん担当 ☎ 042-335-4376

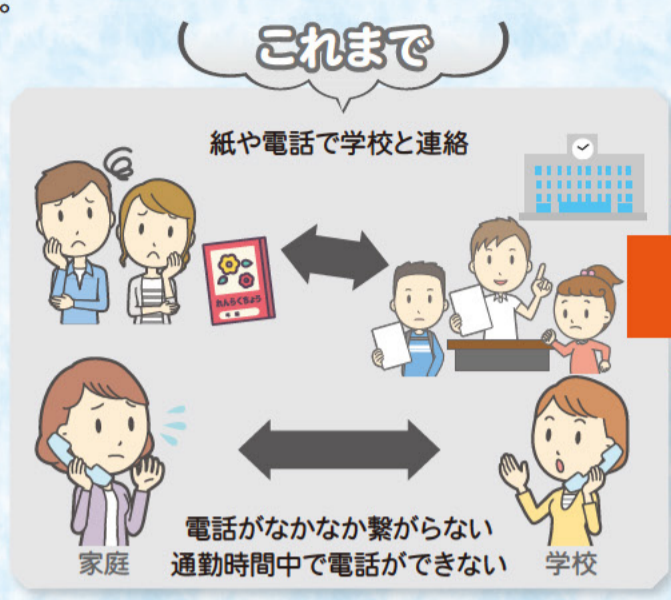


～ご利用ください～ 家庭と学校をつなぐ連絡システム「スマート連絡帳」



5月から市立小・中学校でデジタル連絡システム「スマート連絡帳」の活用が始まりました。連絡手段を従来の紙や電話からデジタル化することで、家庭と学校間の連絡がとりやすくなります。

- 主な機能**
- ① 出欠連絡 (欠席や遅刻の連絡)
 - ② 検温結果連絡 (検温結果の入力、確認)
 - ③ 連絡 (連絡事項や配布物の一斉配信)
- 導入効果**
- ・朝の電話や連絡帳を持参する時間的制約がなくなる
 - ・お便りの渡し忘れや伝達遅れがなくなる



【問合せ】教育センター (☎042-364-4108)



教育センターの事業等について

教育センターでは、専門の相談員が心配事や悩みについての相談を受けたり、学校と連携して配慮が必要な児童・生徒を支援したりする取組を行っています。



教育相談担当
☎ 042-360-4188

市内在住・在学の幼児、小・中学生、高校生とその保護者の方を対象に、専任の電話相談員と臨床心理士等が心配事や悩みについての相談をお受けします。

電話教育相談 (いじめ110番)
相談に来られない方、少しでも相談をしたい方、お気軽にお電話ください。匿名での相談も可能です。

面接相談 (予約制)
臨床心理士等がお話を伺い、問題解決に向けて、助言や相談、検査、他の機関への紹介等を行います。※電話教育相談で予約をしてください。

巡回相談
学校からの要請を受けて、臨床心理士等を学校へ派遣し、教育上特別な配慮を必要とする小・中学生への支援に関する助言等を行います。



教育支援担当
☎ 042-364-6620 (予約制)

心身の障害や発育、病気等で心配事のある幼児・小・中学生の就学や転学に係る相談をお受けします。※電話で面接の予約をしてください。

けやき教室 (適応指導教室)
☎ 042-333-0854

心理的な理由等で学校に行けない状態にある市内在住の小・中学生を対象にした教室です。学校とは違った環境の中での学習や小集団での活動を通じ、学校生活への復帰に向けた支援を行います。

スクールソーシャルワーカー (SSW)

小・中学生が抱えている悩み等、様々な問題の改善を支援する福祉の専門職です。学校や関係機関とのパイプ役となり、小・中学生を取り巻く環境への働きかけを行います。相談を希望する場合は、在籍校を通してご連絡ください。



【問合せ】教育センター (☎042-364-4108)



未来へつなぐ 府中2020レガシー

市教育委員会では、東京2020大会を契機とした、共生社会の実現等に向けた各市立学校の教育活動を推進しています。

浅間中学校 ～起業家から学ぶ～

本校では、職業や働き方などが多様化している社会において、その将来を担う中学生に、生徒一人一人の発達の段階に応じた望ましい勤労観を身に付けるとともに、働き方について考える機会を提供することも必要だと考えています。

そのため、令和3年度は、第2学年の生徒を対象に働くことの意義の理解や、新しい自己の発見、社会とのつながりをもつ機会として、アントレプレナーシップ (起業家教育) に取り組みました。

保険会社の方からはライフプランについて、東京証券取引所等の方からは経済の仕組みについて、林業の方からは起業した経緯と経営について学びました。授業を通じて様々な職業の方から、生き方や考え方などを学ぶことで、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成に加え、子供たちが社会における自分の在り方や困難に対峙する力を育むことができました。



【問合せ】指導室 (☎042-335-4063)

教育センターの移転と不登校特例校の設置を進めています

市では、建築後40年が経過し、老朽化した教育センターについて、旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンターの既存建物を改修して移転する計画を進めています。

この計画に合わせて、教育センターの相談機能は、令和6年度に旧矢崎幼稚園跡地に開設予定の児童発達支援センター (仮称) に移管します。

その他の機能は、令和7年度に移転予定の教育センターで事業を行う計画です。

移転後は、不登校特例校の機能を新たに整備し、けやき教室 (適応指導教室) の機能などとともに、増加・低年齢化している不登校児童・生徒への対応を一層充実させていただきます。

【問合せ】教育センター (☎042-364-4108)

